

光通信の測定装置を開発

オプトハブ（さいたま市南区）

電子部品・デバイスの実装… スペクトル測定装置の高性能化

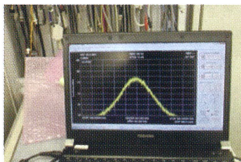
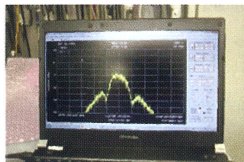
通信・電子関連の企業からのカスタムオーダーに応じて通信部品、光学部品を作っているが、国の研究機関向けにも最先端機器の開発設計を行っている。補助金事業では、経済産業省の産業総合研究所・土田総括研究主幹のアイデアを装置化。

現在のインターネットシステムを支える光ファイバー通信でよ

り高速での送受信を行うためには、光源レーザーのスペクトル線幅を狭くすることが課題。だが、光源レ



ヘテロダイン検出装置と波形



ザーを精度高く測定できる簡便な小型装置がなかった。そこでスペクトル線幅測定器として「ヘテロダイン検出装置」を開発した。

下の2枚の写真はその評価検証時の画像。本装置による測定波形で、写真右下が本装置改良後による測定波形。今までは、測定系がもたらす歪みのため波形がでこぼこしていた。本装

置の改良で、理論値に近いなめらかな測定結果が得られ、信頼性の高い手軽な測定装置が完成した。

現在、大学の研究機関などに本装置を貸与しているが、各方面から高い評価を得ている。今後、高速インターネットやケーブルテレビなどのシステム構築の際に、本装置が各所で活躍するだろう。

【株式会社オプトハブ】

埼玉本社はさいたま市南区別所7-16-18。内藤勝好代表取締役社長。2002年設立。ブロードバンド時代に欠かせない光通信システム、計測機器の開発・設計・販売を手掛け、最先端技術の具現化と企業のカスタムオーダーに応える。商品製造は親会社である長野県のみまき電子部品の工場に委託。